

提案概要

評価項目		指定管理候補者
基本的な考え方	施設の性格や目的等に合致した方針があること	下関市市立近代先人顕彰館を地域文化の活動及び顕彰活動の拠点として、市民の歴史や文化に対する理解を深め、音楽や芸能分野など新たな発信を行い市民の自主的かつ創造的な文化活動を支援、促進する
	市民の平等な利用が確保されていること	顕彰館の設置条例、施行規則等関係法令を遵守し、法令に基づき適正な利用許可及び利用制限を行い、利用者への平等の確保に努める
	施設の効用が最大限発揮されていること	地域の文化団体や自治会等に各種文化活動、会議や講座の場として施設を貸与することにより、先人を顕彰する情報、様々な文化に触れる機会を拡げ、地域の文化芸術の振興に努める
団体の経営状態（経営の健全性）		公益法人の立場を自覚し、適正な経理を努めるとともに、整備された帳簿や台帳等を整え、監査に積極的に協力する
事業計画	施設管理運営の実施方針(合目的性)	市民の心豊かな生活の向上に寄与すべく、文化芸術の振興を図り、顕彰館の持つ魅力・特性を活かした施策を通じ、市民らみんなが集う施設を目指す
	事業への具体的な取り組み方(機能性、独創性)	映画女優「田中絹代」を核とし、文学・音楽・芸能に優れた業績を収めた下関とゆかりの深い先人たちに関する調査・研究資料等の展示データの蓄積により、広く一般への情報公開を行い、市民に歴史や文化に対する理解を深めてもらうよう努める
	施設の運営体制や組織(責任制、実効性)	館長、学芸員 1 人、嘱託 2 人にて運営し、職員の配置を設置目的の達成のため適材適所である人事を行い、業務の円滑化を図る
	適正な管理や経理(明瞭性、規律性)	公益法人の立場を自覚し、適正な経理を努めるとともに、整備された帳簿や台帳等を整え、監査に積極的に協力する
	安全管理、緊急時等の対応(安全性)	利用者の安全確保を第一に危機管理マニュアルを作成し、その遵守と定期的な教育と訓練を実施する
	環境、障害者等への配慮(社会性)	歩行困難な高齢者や身障者の方の利用に際し、平素から職員が対応できるよう体制を整え気軽に利用できる環境づくりに努める
	過去の実績等	【1階ふるさと文学館】 春季所蔵品展、夏季所蔵品展、秋季所蔵品展、冬季所蔵品展、企画展、泉鏡花文学賞受賞特別展 【2階田中絹代記念館】 春季所蔵品展、夏季所蔵品展、秋季所蔵品展、冬季所蔵品展
経済性		令和 9 年度 32,286 千円 令和10年度 32,558 千円 令和11年度 32,990 千円 令和12年度 33,442 千円 令和13年度 33,909 千円